

熊本SJCD第36回教育講演

吉田茂治 先生 講演会



日時：2026年**2**月**8**日(日) 09:30～16:00

講師：吉田茂治 先生(埼玉県さいたま市ご開業)

会場：熊本県歯科医師会館ホール(4F)

費用：3,000円(熊本支部正会員)/6,000円(準会員および他支部正会員)

※非会員の方は準会員にご登録必須(無料)とします

※上記には昼食お弁当を含みます

※オンライン配信はいたしません

1999年 日本歯科大学卒業

1999年 東京医科歯科大学顎顔面外科勤務

2001年 東京医科歯科大学顎関節治療部勤務

2002年 現診療所開設

2010年 日本顎咬合学会認定医

2018年 日本歯科審美学会認定医

2025年 日本臨床歯科学会東京支部副支部長

申込：右下のQRコードにてマイページよりご登録ください

主催：日本臨床歯科学会 熊本支部 事務局

熊本市東区小峯1丁目1-95

096-331-0567(fax331-0577)

taka@ourdent.com



第1部：Airwayを考慮した歯科治療

ヒトは人生の1/3の時間を睡眠に費やし、睡眠を通じて心身の休息だけではなく身体全体のメンテナンスもしているといわれている。しかし、技術革新や生活習慣の変化にともない、睡眠の質の低下が問題となっている。その睡眠の質の低下に大きくかわるのが、睡眠中に呼吸障害が起こる睡眠関連呼吸障害(SRBD; Sleep Related Breathing Disorders)である。SRBDの有病率は高く、未診断の潜在性のSRBD患者の及ぼす社会的、経済的影響も問題となっている。

近年、SRBDに含まれる閉塞性睡眠時無呼吸(Obstructive Sleep Apnea; OSA)の治療に対して、歯科で製作する口腔内装置(OA; Oral Appliance)の効果が注目され、さらに潜在性のSRBD患者を早期発見、早期治療する立場にあるとして歯科医師の役割が重要視されてきている。

睡眠歯科治療はOSAの診断を基に、ただOAを製作するだけではなく、OSAの病態を理解し、患者のQOL向上を目指すことである。

本講演を通じて、歯科における睡眠時無呼吸治療の流れ、医科と歯科の連携、歯科における口腔内装置治療を紹介し、睡眠歯科治療に携わる歯科医の数が増加することを期待する。

第2部：いまある機材をチェアサイドで最大限に活かす：シークエンシャルトリートメントプランへのデジタルデータ活用

多くの臨床現場でコーンビームCTと口腔内スキャナー(IOS)の導入が進んでいるが、これらデジタルツールの活用範囲は補綴装置製作のための印象採得やアライナー矯正に限定される場合が多く、チェアサイドにおける診査・診断、さらには治療計画といった領域には十分に活用しきれていない現状がある。

本講演では、SJCDが提唱する「シークエンシャルトリートメントプラン(Sequential Treatment Plan)」に則った包括的な治療戦略の中で、デジタルツールを実践的かつ体系的に活用するアプローチを提案したい。

私自身もIOSを導入して約2年、日々試行錯誤を続けている立場にある。完璧なシステム活用を語るのではなく、実際の臨床で得た試みや工夫、失敗から学んだことを率直に共有したい。

高額なシステムを導入する前に、まずは手元にあるツールを最大限に活かし、小さな実践を重ねることが将来のシステム選定とワークフロー構築の礎になると考えている。今回はオープンソフトウェアを最大限活用し、チェアサイドでIOSやCTから得たデータの診査・診断への活用、プロビジョナルレストレーションの設計、チェアサイドにおける3Dプリンターの有効性、再評価における治療効果の可視化といったプロセスについて解説したい。

デジタルとアナログの融合による臨床力向上を目指す臨床家にとって、等身大の視点から役立つ提案をお伝えしたいと考えている。